



継続は力なり

令和4年11月8日
小松市立南部中学校
校長 中野 務
TEL44-2560 FAX44-8160

感動の文化祭 ～心を一つにして～

スローガン「新たな挑戦～踏み出す勇気が未来を創る～」のもと、文化祭が終わりました。運動会で紡いだ絆がさらに深まり、南中生の思いが一つになった行事になりました。午前中の合唱コンクールでは、緊張した態度や真剣な眼差しから、力を合わせて最高の合唱をつくりたいという思いを感じ取ることができました。また、1年、2年、3年と学年が上がるにつれ、レベルアップしていく姿から、中学生の成長を感じました。何よりクラス全員が心を一つにして歌うことが、こんなにも人の心に響くものなんだと感動を覚えました。午後のステージ発表では、興味をそそられたり、考えさせられたりと素晴らしい実践発表がありました。真剣な中にも、時にユーモアをまじえて会場を和ませたりと、完成度の高い発表になっていました。また、吹奏楽部の演奏に会場が一体となり、盛り上がりました。生徒会執行部が中心となり、全校生徒で創り上げた温もりのある文化祭は、南中生の誰もが記憶に残るものになったのではないのでしょうか。



【文化祭モニュメント】

令和4年度も7ヶ月が過ぎ、これから後半の仕上げの時期に入ります。コロナの影響を受けつつも、皆さんはできることを探り、工夫を凝らして、運動会や文化祭等いくつかの行事を成功させてきました。勝敗にこだわりつつも、結果をしっかりと受け止め、より絆を深めることができました。このように、自分を主張しながらも、お互いを認め、協力し合うことができたことは、かけがえのない経験になったはずです。今後の学校生活に生かされることを願っています。



○挑戦する勇気を ～限界を自分でつukらない～

勉強でもスポーツでも自分には無理だと思っている時は、たとえできる可能性があっても達成することはありません。陸上競技の話になりますが、イギリスのロジャー・バニスター氏は1954年5月6日に、当時不可能だといわれていた1マイル（約1600m）4分の壁を初めて破りました。それまでは、1マイル4分を切るということは、人類には不可能だと思われていたそうです。ところが、バニスター氏の記録から7週間後、オーストラリアの選手が3分57秒09の記録をつくり、その後1年間で37人のランナーが3分台のタイムを残しました。それまで「人間には不可能だ」と思われてきた記録が、たった一人が証明したことで、「自分にも出来る」という思いが生まれるのです。「不可能だ」という思い込みが限界をつくり、「出来るんだ」と信じることで限界の壁を打ち破っていくのですね。

皆さんの中には、まだ沢山の可能性があります。安易に「自分には無理だ」と思うのではなく、「自分は出来る」「やってみよう」と声に出し挑戦してみてください。多少失敗を繰り返しても、やがて「できる」ようになり、自信へとつながっていくはずです。文化祭で学んだことをこれからの自分自身に生かしてほしいと思います。